

放物線  $C_1: y = ax^2 + bx + c$  と放物線  $C_2: y = -x^2 + 1$  について、次の各問に答えなさい。

(1) 放物線  $C_1$  は点  $(0, -1)$  を頂点として、点  $(2, 3)$  を通る。また、放物線  $C_1$  と放物線  $C_2$  は点  $A_1(x_1, y_1)$  と点  $A_2(x_2, y_2)$  で交わる。ただし、 $x_1 < x_2$  とする。

- (i)  $a, b, c$  の値をそれぞれ求めなさい。  
 (ii)  $x_1, x_2, y_1, y_2$  の値をそれぞれ求めなさい。  
 (iii) 放物線  $C_1$  の点  $A_1$ , 点  $A_2$  における接線の方程式をそれぞれ求めなさい。

(2) 放物線  $C_2$  上の点  $P$  の  $x$  座標を  $t$  とし、原点と点  $P$  を通る直線の傾きを  $m$  とする。また、連立不等式

$$\begin{cases} y \leq mx \\ y \geq x^2 \\ |x| \leq |t| \end{cases}$$

の表す領域の面積  $S(t)$  を  $t$  の関数とする。ただし、 $|t| \leq \frac{\sqrt{2}}{2}$  とする。

- (i)  $t \neq 0$  のとき、 $m$  を  $t$  の式で表しなさい。  
 (ii)  $S(t)$  を  $t$  の式で表しなさい。  
 (iii)  $S(t)$  を最大にするすべての  $t$  の値を求めなさい。また、 $S(t)$  の最大値を求めなさい。

(17 帯広畜産大 2)

【答】

- (1) (i)  $a = 1, b = 0, c = -1$   
 (ii)  $x_1 = -1, x_2 = 1, y_1 = 0, y_2 = 0$   
 (iii)  $A_1$  における接線の方程式は  $y = -2x - 2$ ,  $A_2$  における接線の方程式は  $y = 2x - 2$
- (2) (i)  $m = -t + \frac{1}{t}$   
 (ii)  $S(t) = \begin{cases} -\frac{5}{6}t^3 + \frac{1}{2}t & (0 < t \leq \frac{\sqrt{2}}{2}) \\ \frac{5}{6}t^3 - \frac{1}{2}t & (-\frac{\sqrt{2}}{2} \leq t < 0) \end{cases}$   
 (iii)  $t = \pm \frac{\sqrt{5}}{5}$  のとき、最大値  $\frac{\sqrt{5}}{15}$

【解答】

$$C_1: y = ax^2 + bx + c$$

$$C_2: y = -x^2 + 1$$

(1) (i) 放物線  $C_1: y = ax^2 + bx + c$  は点  $(0, -1)$  を頂点とするから

$$y = ax^2 - 1$$

と表すことができ

$$\mathbf{b = 0, c = -1} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。さらに点  $(2, 3)$  を通るから

$$3 = 4a - 1 \quad \therefore \mathbf{a = 1} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

(ii)  $C_1, C_2$  の交点の  $x$  座標は

$$\begin{aligned}x^2 - 1 &= -x^2 + 1 \\2x^2 &= 2 \quad \therefore x = \pm 1\end{aligned}$$

である。交点  $A_1(x_1, y_1), A_2(x_2, y_2)$  について  $x_1 < x_2$  であるから

$$A_1(-1, 0), A_2(1, 0)$$

であり

$$\mathbf{x_1 = -1, x_2 = 1, y_1 = 0, y_2 = 0} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

(iii)  $C_1: y = x^2 - 1$  について  $y' = 2x$  であり,  $C_1$  上の点  $A_1(-1, 0)$  における接線の方程式は

$$y = -2\{x - (-1)\} \quad \therefore \mathbf{y = -2x - 2} \quad \dots\dots(\text{答})$$

点  $A_2(1, 0)$  における接線の方程式は

$$y = 2(x - 1) \quad \therefore \mathbf{y = 2x - 2} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

(2) (i)  $C_2$  上の点  $P$  の  $x$  座標が  $t$  のとき,  $P$  の座標は  $(t, -t^2 + 1)$  であり,  $t \neq 0$  のとき, 直線  $OP$  の傾き  $m$  は

$$m = \frac{-t^2 + 1}{t} = -t + \frac{1}{t} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

(ii) 連立不等式

$$(*) \begin{cases} y \leq mx \\ y \geq x^2 \\ |x| \leq |t| \quad \left( |t| \leq \frac{\sqrt{2}}{2} \right) \end{cases}$$

について, 直線  $OP$  の傾き  $m \left( = -t + \frac{1}{t} \right)$  が定義されるのは  $t \neq 0$  のときであるから,

(ii)(iii) においても  $t \neq 0$  とする。また

$$|x| \leq |t| \iff -|t| \leq x \leq |t|$$

である。

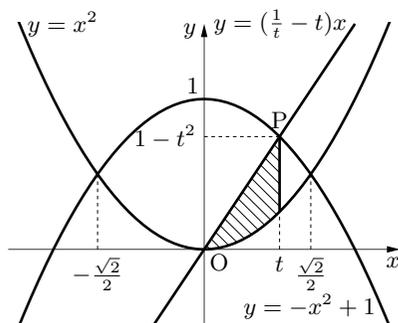
(ア)  $0 < t \leq \frac{\sqrt{2}}{2}$  のとき

$$(*) \iff \begin{cases} y \leq \left( \frac{1}{t} - t \right) x \\ y \geq x^2 \\ -t \leq x \leq t \end{cases}$$

であり,  $(*)$  の表す領域の面積  $S(t)$  は

$$\begin{aligned}S(t) &= \frac{1}{2}t(1 - t^2) - \int_0^t x^2 dx \\ &= \frac{1}{2}(t - t^3) - \left[ \frac{x^3}{3} \right]_0^t \\ &= -\frac{5}{6}t^3 + \frac{1}{2}t\end{aligned}$$

である。



(イ)  $-\frac{\sqrt{2}}{2} \leq t < 0$  のとき

$$(*) \iff \begin{cases} y \leq \left(\frac{1}{t} - t\right)x \\ y \geq x^2 \\ t \leq x \leq -t \end{cases}$$

であり, (\*) の表す領域の面積  $S(t)$  は

$$\begin{aligned} S(t) &= \frac{1}{2}(-t)(1-t^2) - \int_t^0 x^2 dx \\ &= \frac{1}{2}(t^3 - t) - \left[\frac{x^3}{3}\right]_t^0 \\ &= \frac{1}{2}(t^3 - t) + \frac{t^3}{3} \\ &= \frac{5}{6}t^3 - \frac{1}{2}t \end{aligned}$$

である.

(ア)(イ) より

$$S(t) = \begin{cases} -\frac{5}{6}t^3 + \frac{1}{2}t & \left(0 < t \leq \frac{\sqrt{2}}{2}\right) \\ \frac{5}{6}t^3 - \frac{1}{2}t & \left(-\frac{\sqrt{2}}{2} \leq t < 0\right) \end{cases} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である.

(iii)  $S(-t) = S(t)$  より,  $S(t)$  のグラフは直線  $t = 0$  に関して対称であるから,  $0 < t \leq \frac{\sqrt{2}}{2}$  の範囲での増減を調べる.

$$\begin{aligned} S'(t) &= -\frac{5}{2}t^2 + \frac{1}{2} \\ &= -\frac{5}{2}\left(t^2 - \frac{1}{5}\right) \end{aligned}$$

$0 < t \leq \frac{\sqrt{2}}{2}$  における  $S(t)$  の増減は右表となるから,  $-\frac{\sqrt{2}}{2} < t \leq \frac{\sqrt{2}}{2}$  において,  $S(t)$  は

$t$	(0)	...	$\frac{\sqrt{5}}{5}$	...	$\frac{\sqrt{2}}{2}$
$S'(t)$		+	0	-	
$S(t)$		↗		↘	

$$t = \pm \frac{\sqrt{5}}{5} \quad \dots\dots(\text{答})$$

のとき

$$\text{最大値: } f\left(\frac{\sqrt{5}}{5}\right) = -\frac{5}{6} \cdot \frac{\sqrt{5}}{25} + \frac{1}{2} \cdot \frac{\sqrt{5}}{5} = \frac{2\sqrt{5}}{30} = \frac{\sqrt{5}}{15} \quad \dots\dots(\text{答})$$

をとる.

